



詳しく知りたい人は二次元コードを読み取っていただき、市ホームページをご覧ください。

1 職員の任免および職員数に関する状況

①職員の採用・退職の状況

【採用】令和5年4月1日			【退職】令和4年4月～令和5年3月				
事務職	保育士	計	定年退職	希望退職	普通退職	懲戒免職	計
11人	4人	15人	7人	4人	8人	0人	19人

②職員数の状況(各年度の4月1日現在) (単位:人)

区分	一般行政部門		特別行政部門			公営企業など			合計
	福祉以外	福祉	教育	消防	病院	水道	下水道	その他	
令和5年度	230	116	80	0	5	10	11	22	474
令和4年度	231	116	83	0	5	10	11	21	477

※水道部門は、淡路広域水道企業団への派遣職員

※職員数は、国・県派遣職員を含む全職員数(短時間勤務職員を除く)

2 職員の給与の状況

①人件費(普通会計決算)

区分	歳出額合計	人件費	人件費率
令和4年度	32,906,027千円	4,888,904千円	14.9%
令和3年度	30,539,268千円	4,922,842千円	16.1%

※人件費には、市長・議員等特別職の給与や報酬などを含む

※人件費率は、普通会計決算額全体に対する人件費の割合

③職員給与費(令和5年度普通会計予算)

職員数(A)	給与費				1人当たり給与費(B/A)
	給料	期末・勤労手当	職員手当	計(B)	
436人	1,691,653千円	663,069千円	226,555千円	2,581,277千円	5,920千円

※職員数は令和5年4月1日現在の普通会計に属する職員数(特別職を除く)

④職員の平均年齢と平均給料月額、平均給与月額(令和5年4月現在)

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	43歳0ヶ月	327,939円	396,249円
技能労務職	54歳6ヶ月	303,522円	327,442円

※平均給与月額＝給料に諸手当を含む

《職員手当の内訳》

扶養手当、住居手当、通勤手当、単身赴任手当、特殊勤務手当、時間外勤務手当、宿日直手当、管理職手当

⑥一般行政職の級別職員数(令和5年4月1日現在)

区分	主な役職	職員数	構成比
7級	部長・事務局長	10人	2.2%
6級	副部長・事務局長・課長	41人	9.1%
5級	所長・主幹・副課長・室長	62人	13.8%
4級	係長・主任	177人	39.3%
3級	主査	77人	17.1%
2級	主事	51人	11.3%
1級	事務員	32人	7.1%
	計	450人	

※一般行政職＝医師・看護師・技能労務職等の専門職は含まない

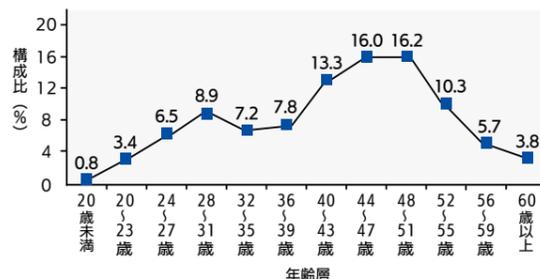
市職員の任免や給与の実態をお知らせします。

詳細は市ホームページをご覧ください。

☎総務課 43-5001



③年齢層別職員の構成比(令和5年4月1日現在)

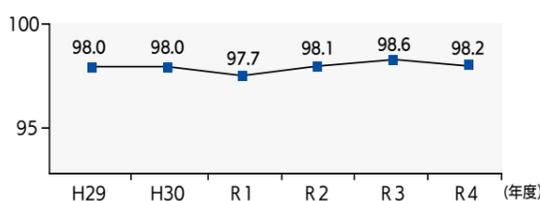


②ラスパイレス指数(令和4年度)

南あわじ市	類似団体平均	全国市平均
98.2	97.3	98.7

※ラスパイレス指数＝国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数

※類似団体平均＝人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を平均したものの



⑤期末・勤労手当(令和4年度実績)、退職手当(令和5年4月1日現在)

期末・勤労手当支給割合			退職手当支給割合		
支給期	期末手当	勤労手当	区分	自己都合	希望・定年
6月期	1.2月分	0.95月分	勤続20年	19.6695月分	24.58688月分
12月期	1.2月分	1.05月分	勤続30年	34.7355月分	40.80375月分
合計	2.4月分	2.0月分	最高限度	47.709月分	47.709月分

3 職員のサービスの状況

①年次休暇の取得状況(令和4年1月～12月)

対象人数	総付与日数	総取得日数	取得率	平均取得日数
402人	15,853日	3,746日	23.6%	9.3日

※対象人数は、育児休業者や退職者等を除く全期間在職した者

②育児休業、部分育児休業の取得状況(令和4年度)

区分	新規取得可能者	取得者	取得率
育児休業(女性)	5人	5人	100.0%
育児休業(男性)	1人	1人	100.0%
部分育児休業	—	14人	—

※これらの休業制度は無給

主な令和4年度事業

新型コロナウイルス感染症・物価等高騰対策事業 16億7,170万円

新型コロナウイルス感染症の拡大防止や感染拡大の影響下にある地域経済、住民生活への支援に加えコロナ禍において物価高騰等に直面する生活者や事業者への支援など、『必要となるに必要な措置を』との考えの下、各種施策を展開しました。

I. 新型コロナウイルス感染症対策事業

安全・安心確保の取り組み 4億3,818万円

新型コロナウイルスワクチンの接種を南あわじ市医師会や歯科医師会と連携しながら集団接種や個別接種を行いました。また感染症対策として公共施設へマスクや消毒液等の物品を購入しました。コロナ禍での出産と育児に対する不安軽減のため、新生児の母親及び妊婦に対して給付金を支給しました。

社会経済基盤強化の取り組み 1億8,048万円

コロナ禍で行政や民間企業の各種手続きのオンライン化が進む中、シニア世代の情報格差を解消するためスマホ相談窓口を実施しました。消費喚起事業として、商店街等のプレミアム付き商品券の発行を行いました。また市内事業者に対し中小企業者等企業力アップ促進事業、利子補給等により支援を行いました。

新たな価値観で生じた需要の取り込み 8,576万円

テレワークを活用し地方への新しい人の流れを創出するため、市内の関係事業者で構成された地方創生テレワーク推進共同事業体に対し支援を行いました。また市内宿泊施設を利用した長期滞在型観光やワーケーションを推進するため、体験型観光コンテンツの造成支援や観光ガイドの養成を行いました。

II. 原油価格・物価高騰対策事業

市民生活支援の取り組み 8億3,348万円

コロナ禍や物価高騰の影響下において、住民税非課税世帯等への臨時特別給付事業、子育て世帯生活応援給付事業等により支援を行いました。また物価高騰下における消費を喚起するため、マイナンバーカード取得者に対し5,000円相当の自治体マイナポイントを付与しました。

事業活動支援の取り組み 1億3,200万円

原油価格・物価高騰の影響を受けた農業、酪農経営者や漁協への支援を行いました。また米粉サイレージ(SGS)飼料生産利用拡大推進事業では、これまで100%輸入に頼っていた濃厚飼料を市内生産するため生産者団体を結成し、支援を行いました。

その他の事業

下水道放流施設建設事業

衛生費 11億1,020万円

生活環境及び環境衛生の向上を図るために下水放流施設を新設しました。また新施設供用開始後に衛生センターの解体工事を行いました。



火葬場建設事業

衛生費 9億1,141万円

新火葬場「南あわじ市斎苑桜花の郷」を建設しました。



大鳴門橋周辺環境整備事業

商工費 4億7,612万円

観光周遊を促進するため大鳴門橋周辺の交通拠点施設として鳴門岬駐車場(うずまちテラス)の整備を行いました。



通学路安全施設設置事業

土木費 1,751万円

安全・安心な通学路を確保するため、グリーンベルト及び区画線の設置・補修を行いました。



学ぶ楽しさ支援センター整備事業

教育費 1億4,153万円

学ぶ楽しさ日本一をめざす市の新たな教育拠点「学ぶ楽しさ支援センター」の開設に向け、旧三原志知小学校の改修整備を行いました。

